

あいちの印刷

7

2016.7
No.536



橘寺（聖徳太子生誕の地・奈良県高市郡明日香村）

もくじ

- 巻頭言「社名を知らないのは会社がないのと同じ」 …… 3
- 全印工連／中部地区印刷協議会上期会議（三重県会議）
平成28年度事業計画・基本方針発表 …… 4
- 愛印工組／女性活躍推進セミナー
「印刷会社の女性活躍を考えよう in 愛知」
女性の活躍で変わる、変える、これからの印刷産業 …… 8
- 愛印工組／MUDセミナー
MUDの基礎知識とMUDに配慮した印刷物制作のポイント学ぶ …… 11
- 愛印工組
平成28年度事業計画 …… 12
- 全印工連
2025計画を策定
『新しい印刷産業へのリ・デザイン』刊行 …… 14
- 編集だより …… 14

人に 社会に 想いを カタチに

OIO 愛知県印刷工業組合

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フィルムは提案します—— 成長は、「省資源」から。
材料・工数・水・エネルギー・排出、
これまでの「コスト」を減らし利益に還元。
製版・印刷工程を軸にした、
独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が
あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

FUJIFILM
「減らす」がつくる、クオリティ **SUPERIA**

富士フィルム グローバルグラフィックシステムズ株式会社 中部支社 〒460-8404 名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フィルム名古屋ビル 052(201)8171 [ホームページ http://ffgs.fujifilm.co.jp](http://ffgs.fujifilm.co.jp)



ともに、世界へ彩りを。

「彩り(いろどり)」とは心が豊かで、ゆとりや潤いがあり、
喜び、楽しさ、幸せに満ちた世界を表現した言葉。
「ともに、世界へ彩りを。」というコーポレートメッセージには
お客様はもとより、印刷業界に携わる全ての皆様と信頼関係を築き、
ともに、彩りのある社会づくりに貢献したいという想いが込められています。
リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社は、独創的な技術をもとに、
様々な印刷機やサービスをグローバルに提供してまいります。



リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

中日本支社 〒468-0034 愛知県名古屋市中区白区久方1-145-1 TEL 052-807-1671

<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

優れた安全性と作業効率を実現して **ERCシリーズ誕生。**



ERC
SERIES



ITOTEC

イトテック株式会社

最新情報はインターネットで www.itotec.co.jp

Photo: eRC115DX

本社	愛知県犬山市舟田10-4	TEL 0568-67-5311	FAX 0568-68-0495	〒484-0912	福岡サービスセンター	福岡市東区箱崎ふ頭6-1-6	TEL 092-651-6031	FAX 092-631-1746	〒812-0051
東京支店	東京都板橋区中台1-31-1	TEL 03-5920-2161	FAX 03-5920-2171	〒174-0064	札幌サービスセンター	札幌市中央区北一条西18-1	TEL 011-611-7221	FAX 011-611-7224	〒060-0001
大阪支店	東大阪市荒本新町3-2-9	TEL 06-6618-5335	FAX 06-6618-5337	〒577-0022	新潟サービスセンター	新潟市横越中央1-11-10	TEL 025-385-2059	FAX 025-385-3701	〒950-0208
四国営業所	愛媛県四国中央市新宮町上山3307	TEL 0896-72-2020	FAX 0896-72-2050	〒799-0302	仙台サービスセンター	仙台市宮城野区岡田浦通1-132-7	TEL 022-258-1758	FAX 022-258-1793	〒983-0003

暑中お見舞い 申し上げます

掲載順不同

愛知県印刷工業組合

理事長 細井俊男
副理事長 鳥原久資
副理事長 松岡祐司
副理事長 酒井良輔
副理事長 岩瀬清伸
副理事長 木村吉伸

名古屋市東区泉1-20-12 電話(052)962-5771
メディアージュ愛知1階

愛知県印刷協同組合

理事長 木野瀬吉孝
副理事長 細井俊男
副理事長 鳥原久資
副理事長 松岡祐司
顧問理事 高井昭弘

名古屋市東区泉1-20-12 電話(052)962-5771
メディアージュ愛知1階

愛知県印刷産業団体連絡会

会長 細井俊男

名古屋市東区泉1-20-12 電話(052)962-5771
メディアージュ愛知1階

愛知県中小企業共済協同組合

理事長 滝 幹夫

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-38
愛知県産業労働センター(ウインクあいち)16階
TEL(052)587-2223 FAX(052)581-1180

新日本印刷株式会社 SHINNIHON PRINTING CO.,LTD.

代表取締役社長

細井俊男

E-mail: thosoi@s-pri.co.jp

〒468-0065 名古屋市天白区中砂町496番地
TEL(052)832-6851(代表)
FAX(052)832-6989



代表取締役社長

鳥原久資

Torihara Hisashi
torihara@maruwanet.co.jp

株式会社 マルワ

〒468-0011 名古屋市天白区平針四丁目 211 番地
Tel 052-802-4141 Fax 052-802-9355
http://www.maruwanet.co.jp

http://www.facebook.com/toriharahisashi/

印刷にとどまらない情報発信のお手伝い



心の経営で拓く未来
株式会社アサプリホールディングス



代表取締役社長
松岡 祐司 Matsuoka Yuji

携帯 080-3622-0234
〒511-0839 三重県桑名市大字安永926番地
tel.0594-23-5519 fax.0594-23-5855
E-mail: matuoka@asapri.co.jp
URL: http://www.asapri-hd.jp

愛知県印刷工業組合

副理事長

酒井 良輔

Ryousuke Sakai



販促支援グッズ
通販サイト
www.hi-kick.net

Homepage
http://chita.co.jp

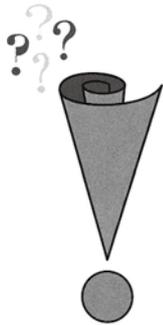
知多印刷株式会社

〒475-0846 愛知県半田市栄町3丁目123番地
TEL.0569-21-2051 FAX.0569-21-2053



暑中お見舞い 申し上げます

掲載順不同



代表取締役
木村吉伸

一枚の紙によってできること……
私たちはあなたにとって何がBESTか?
創業以来ずっと考え、提案し続けています。
あなたの応援企業に……

 **木村紙商事株式会社**
E-mail:LEL01475@nifty.com
http://www.re-papyrus.com

豊橋合同印刷株式会社

代表取締役 社長 **岩瀬 清**

本社・工場 豊橋市東脇四丁目8番地の16
電話 (0532) 32-5533 番代
FAX (0532) 32-6928 番

木野瀬印刷株式会社

本 社
愛知県春日井市西本町3丁目235番地
TEL (0568) 31-3118 FAX (0568) 33-7027
東京営業所
東京都千代田区神田佐久間町4丁目16 パルK2
TEL (03) 6424-4321 FAX (03) 6424-4322
http://www.kinose.co.jp

代表取締役
木野瀬 吉孝
Yoshitaka Kinose

P.T.C. Group

代表取締役 社長
高井 英和
Hidekazu Takai



プリ・テック株式会社
〒445-0804 愛知県西尾市緑町1丁目24番地
tel:0563-55-0707(代) fax:0563-55-0202
http://www.pritech.co.jp
E-mail:hidekazu@pritech.co.jp



株式会社 荒川印刷



代表取締役 会長 **荒川 幹夫**
代表取締役 社長 **荒川 壮一**

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目16番38号
TEL 052-262-1006 (代) FAX 052-262-2296
E-mail arakawa@arkw.co.jp URL http://www.arkw.co.jp 



株式会社二和印刷紙業

代表取締役 山田 稔

〒462-0011 名古屋市中区五反田町248番
TEL052-909-2250 FAX052-902-1366
URL http://www.futawa.co.jp



株式会社
サクラ印刷
www.sakura-pr.co.jp

代表取締役社長
野々村 昌彦
Masahiko Nonomura

名古屋市南区千種通 6-35 〒457-0071
Phone (052) 822-4488 Fax (052) 822-5592



AR付フリーペーパー『ペクロス』発行中

8年目突入!

株式会社 愛知印刷工業



P-00079



代表取締役社長

久野 彰彦



F-B10076
本社・本社工場

本社・工場
〒476-0002 愛知県東海市名和町2番割上52-1
TEL (052) 601-4511 FAX (052) 604-4410
http://www.aichi-p.co.jp/

アパ・東京 (株式会社 愛知印刷工業 / 東京支社)
〒105-0011 東京都港区芝公園2-12-15 (大国ビル2階B)
TEL (03) 5403-7227 FAX (03) 5403-5775

©発行部数 / 95,000部



代表取締役社長

小倉 有貴

駒田印刷株式会社

〒460-0021
名古屋市中区平和2丁目9-12
TEL 052-331-8881(代) FAX 052-332-3178

コミュニケーション・テクノロジー追求により顧客ビジネス発展に貢献する

株式会社 **クイックス**

代表取締役会長 服部 晋吾
代表取締役社長 岡本 泰

本社 愛知県刈谷市幸町2-2
TEL (0566)24-5511 FAX (0566)26-0200
東京事業部・名古屋本部



名鉄局印刷株式会社

代表取締役社長 箕浦 靖夫

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南三丁目13番23号
TEL (052) 561-3271 FAX (052) 561-3274

3 B 伝わる、つながる、ビジネス。
ブラザー印刷は、「目的」[ターゲット]
「お客様の強み」を明確にし、伝わる広報・印刷物・
WEBサイト等のビジネスツール作りのお手伝いをします。

B BROTHER PRINTING
BROTHER PRINTING COMPANY & ASSOCIATES

ブラザー印刷株式会社
〒444-0834 愛知県岡崎市柱町字福部池1-200
TEL 0564-51-0651 FAX 0564-54-2405
<http://brother-p.com/>



SHOWA PRINTING CO., LTD.

代表取締役社長 前崎 正太郎
s_maesaki@showa-printing.co.jp



昭和印刷株式会社

〒462-0047 名古屋市中区金城町3-22
tel. 052-917-0011 fax. 052-917-4460
<http://www.showa-printing.co.jp>

今の「Vナガイル」を次に「Vナゲル」。
<http://www.shoeisha.net>

代表取締役

猪飼 重太郎

株式会社 昭栄社印刷所

〒454-0055 名古屋市中川区十番町3丁目1番地
TEL (052) 652-2368 FAX (052) 652-0219
E-mail : shoeisha@shoeisha.net



KANDA PRINTING INDUSTRY CO., LTD.

代表取締役

田中 賢二



神田印刷工業株式会社 / 〒464-0084 名古屋市中区千種区松軒1丁目1番5号
TEL:052-722-0611 FAX:052-722-7007
URL:<http://www.kanda-p.co.jp> E-mail:info@kanda-p.co.jp

共生印刷株式会社

代表取締役 社長
奥村 和俊

〒460-0007 名古屋市中区新栄二丁目11番6号
TEL (052) 251-2281
FAX (052) 242-0031

Nets

人・印刷コミュニケーション

代表取締役

榊原 研

「財・事・人」

nets-net@nets-net.co.jp

株式会社 新興印刷社

代表取締役 近藤 祐輔

〒489-0934 瀬戸市菱野町4
TEL (0561) 21-0391
FAX (0561) 21-0395

暑中お見舞い 申し上げます

掲載順不同

代表取締役

吉川正敏

Yoshikawa Masatoshi



株式会社 ヨシノ印刷

〒444-0924

岡崎市八帖北町14番地15

TEL(0564)24-1218 FAX(0564)24-1968

seibin@yoshino-print.co.jp

http://www.yoshino-print.co.jp/



エコアクション21
認証・登録番号 0003214

KITO PRINTING Co.,Ltd.

鬼頭印刷株式会社

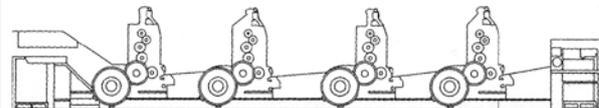
〒456-0073 名古屋市熱田区千代田町3-2-2

tel: 052-681-1701 fax: 052-679-1171

URL: http://www.kito-net.com

鬼頭 則夫

代表取締役



安城印刷株式会社

since 1935

代表取締役

古居一雄

〒446-0039 愛知県安城市花ノ木町5-2

TEL 0566-75-1189 FAX 0566-75-3346

http://www.a-print.co.jp



ANJO PRINTING

菱源株式会社

代表取締役社長 岩田吉光

〒490-1144 愛知県海部郡大治町西条松下75

電話 (052)444-2323

FAX (052)444-2636

URL: http://www.hishigen.co.jp/



sunartprintingCo.,ltd.



代表取締役社長

若園宣治

株式会社サンアート印刷

春日井市森山田町73番地 〒486-0935

TEL(0568)32-2790 FAX(0568)33-0497

データ用E-mail:sunart@infonia.ne.jp

営業用E-mail:nobuji@sunart-p.jp



NAGANAE
PRINTING

代表取締役社長

長苗克彦

KATSUHIKO NAGANAE

長苗印刷株式会社

〒456-0003 名古屋市熱田区波寄町16-13

tel:052-871-2511 fax:052-872-1407

http://www.naganae.co.jp mail:top@naganae.co.jp



再生紙使用



TAIYODO
PRINTING

代表取締役社長

大河内 康史

E-mail:yasushi@taiyodo-p.co.jp

株式会社 大洋堂

〒454-0843 名古屋市中区大畑町2-30

TEL 052-352-3451 FAX 052-363-1431

URL http://taiyodo-p.co.jp

株式会社フルブリッジ

代表取締役社長 スズ キ タケ シ
鈴木 岳 志

〒440-0861 豊橋市向山西町2番地5

電話 (0532) 56-1313番 (代表)

竹田印刷株式会社

代表取締役社長 山本 真一

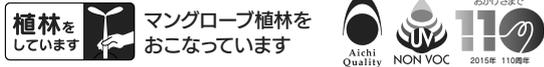
本社 〒466-8512 名古屋市昭和区白金一丁目11番10号
TEL.052-871-6351(代)
関東事業部 〒114-0016 東京都北区上中里二丁目9番1号
TEL.03-3913-5501(代)
関西事業部 〒581-0038 大阪府八尾市若林町二丁目143番地
TEL.072-920-6600(代)



代表取締役社長
江端 茂義

大信印刷株式会社

本社 〒466-0051 名古屋市昭和区御器所2-14-12
TEL 052-871-5931
E-mail ebata@taishin-printing.co.jp
URL http://taishin-printing.co.jp



愛知ブランド認証取得
株式会社エムアイシーグループ
代表取締役 三浦 康彦

〒445-0811 西尾市道光寺町東繩65
TEL (0563) 56-5111
東京/新宿 名古屋/栄1



代表取締役社長
松本 高武

マツモト印刷株式会社

〒453-0856 名古屋市中村区並木1-301
TEL: 052-411-4863 FAX: 052-413-0648
携帯: 090-3303-7378
E-mail: takamu@printing.co.jp
URL: http://www.printing.co.jp



株式会社 太急

TEL(052) 262-0555 FAX(052) 262-1043

〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目14番21号
E-mail: daikyu@dk-print.co.jp

UVインクジェット小ロットカラー名入れ印刷も承っております

伝える心を、 伝わる力に。

株式会社 伊藤美藝社製版所

代表取締役 社長

伊藤 公一

Koichi Ito

TEL(052)-991-2258(代表) FAX(052)-914-6064

不二印刷工業株式会社

代表取締役 関谷 和宏

〒452-0822 名古屋市中区小田井四丁目147番地
TEL(052) 504-9461
FAX(052) 504-9465



PRINTING COMPANY

株式会社 活英社

西森 鷹雄

〒461-0022 名古屋市東区東大曾根町2番2号
☎(052)936-4531(代) Fax(052)936-4533
E-mail: Windows専用: win@katsueisha.jp
Macintosh専用: mac@katsueisha.jp
URL: http://www.katsueisha.jp

のぼりは、手軽な店外装飾です!

のぼり・旗・幕・半天 製造直売

有限会社 **コンシマスクリーン**

専務取締役 此島 誠司



工場 小牧市大字天津字北前 951 番地
〒485-0827 TEL(0568)73-6111(代)
ファクシミリ(0568)73-4648
春日井市味美白山町1丁目13番地の13
〒486-0969 TEL(0568)31-1729
E-mail: info@konishima-screen.com
http://www.konishima-screen.com/

代表取締役 会長

脇田 国正

wakita kunimasa

株式会社 脇田コウキ製本

無糊綴製本・平綴製本・中綴製本 専門

本社工場 〒486-0901 春日井市牛山町1188

TEL 0568-33-6308 FAX 0568-33-6932 mobile 090-8869-0026
e-mail wakita_k@wakita-bin.com HP http://www.wakita-bin.com

暑中お見舞い 申し上げます

掲載順不同

ウエノ株式会社

名古屋営業所

所長 北村 英一

名古屋市千種区千種通5-8
電話 741-5351 (代表)



代表取締役社長

児玉 和 紘

株式会社フリポート

〒452-0001 愛知県清須市西枇杷島町古城二丁目5番地2
TEL 052-503-1681(代) FAX 052-503-5900
E-mail: ka-kodama@priport.co.jp
URL <http://www.priport.co.jp>



代表取締役社長

讃岐 秀 昭

本店/〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号
TEL052-331-4111 (代) FAX052-331-4691
<http://www.kobundo.co.jp>



SEIKOSHA

代表取締役

吉田 久美
YOSHIDA KUMI

株式会社 盛功社

〒461-0014 名古屋市中区榑木町3丁目17番地
TEL: 052-932-5611 FAX: 052-931-0280



Color & Comfort by Chemistry

野辺 豊

執行役員
名古屋支店長

ディーアイシー
DICグラフィックス株式会社

名古屋支店
〒460-0003 名古屋市中区錦3-7-15
Tel: 052-951-9381
Fax: 052-962-3591
yutaka-nobe@ma.dic.co.jp

TOYOINK

取締役
中部支社 支社長

田中 欣久



東洋インキ株式会社

〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目15番20号
ie丸の内ビルディング12階
Tel 052-218-7460 090-3342-7291 Fax 052-218-7465
yoshihisa.tanaka@toyoinkgroup.com www.toyoink.jp

TOYOINKGROUP

Visible Science for Life



営業部門
名古屋支店

支店長

山本 相

東京インキ株式会社

〒452-0813 愛知県名古屋市西区赤城町112番地
TEL. (052) 503-3321 (代表)
FAX. (052) 503-6315

名古屋支店 支店長

佐々木 和男



ISO 9001
ISO 14001
JQA-QM4528
JQA-EM2205
埼玉工場

株式会社 T&K TOKA

愛知県小牧市小木東2-22 〒485-0059
TEL 0568-43-5001 (代表)
FAX 0568-43-5005 (受注専用)
FAX 0568-43-5006 (営業専用)
URL : <http://www.tk-toka.co.jp>

T&K TOKA



株式会社 ナプス

●代表取締役 津田 知信

〒466-0058 名古屋市昭和区白金3丁目7番6号
TEL 052(882)3481(代)
FAX 052(882)3483
E-mail: belle-p@sd.starcat.ne.jp
営業品目 カラーDTPシステム
オフセット印刷機材



三菱製紙グループ

名古屋支店 支店長

鎌田 浩之



ダイヤミック株式会社

〒460-0007 名古屋市中区新栄2-42-32
TEL.052-251-9741 FAX.052-263-0783
E-mail: kamata@dmc.co.jp
U R L : http://www.dmc.co.jp/

FUJIFILM



富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社

中部支社 支社長 鬼山 信夫

中部支社 〒460-8404 名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フイルム名古屋ビル 052(201)8171

ホームページ http://fgs.fujifilm.co.jp



KONICA MINOLTA

吉田 秀之

情報機器PPG事業本部
PPG事業統括部 PPG営業統括部
中部営業部 部長



コニカミノルタ ジャパン株式会社

愛知県名古屋市中区栄2-9-15
三井住友海上名古屋しらかわビル11F 〒460-0008
Tel: 052-229-4624
Fax: 052-229-4645
E-mail: hideyuki.yoshida1@konicaminolta.com
URL: http://konicaminolta.jp

非木材紙



ニッカ株式会社

代表取締役社長

齋藤 太郎

〒174-8642 東京都板橋区前野町2丁目14番2号
TEL : 03-3960-7922 FAX : 03-3558-3076
U R L : http://www.nikka-ltd.jp

SCREEN

Fit your needs, Fit your future



西日本・中部営業統轄部 名古屋支店
支店長
エコビープル (7-1-01110)

岡村 雅光
Masamitsu Okamura

株式会社 メディアテクノロジー ジャパン

名古屋市中区錦2丁目14-21 円山ニッセイビル 〒460-0003
TEL 052-218-6402 FAX 052-218-6411
E-mail: m.okamura@mtjn.co.jp http://www.mtjn.co.jp



紙・包材・LEDの
Axuas



株式会社 アクアス

代表取締役会長 大河内 健二

代表取締役社長 大河内 泰雄

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目 25-35
TEL.(052)220-5511 FAX.(052)220-5522
U.R.L. http://www.axuas.jp / E-mail info@axuas.jp



メイカミ

ただし

代表取締役会長 長谷川 志

代表取締役社長 鬼頭正二郎

名古屋紙商事株式会社

名古屋市中区主税町4-83 〒461-0018
Tel.052-931-2221(代)
Fax.052-932-1418
E-mail:nagoya@meikami.co.jp
URL:http://www.meikami.co.jp

再生紙使用

adWISE

代表取締役

山口 慎也

株式会社 アドワイズ

〒451-0062
名古屋市中区花の木1-16-18 花の木ハイツ1F
TEL.052(523)1257 FAX.052(523)1258
携帯:090-8188-9121
E-mail:ad-wise@ad-wise.biz



株式会社 一柳葬具總本店

取締役社長 一柳 鐔



本店 〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目14番11号
TEL 052-241-0658 番(代表)
FAX 052-263-1310 番
営業部 〒460-0012 名古屋市中区千代田一丁目7番11号
TEL 052-251-9296 番(代表)
FAX 052-263-1361 番
ホームページ http://www.ichiyonagi-sougu.co.jp

暑中お見舞い 申し上げます

掲載順不同



株式会社 キングコーポレーション

代表取締役

棚 橋 泰 仁



460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目7番23号
Tel. <052>961-7661 (代) / Fax. <052>961-7662
URL: <http://www.king-corp.co.jp>



支店長

佐 賀 政 幸

株式会社 小森コーポレーション
名古屋支店
名古屋市中川区愛知町4-6 〒454-0807
Tel.052-363-5011 Fax.052-363-5031



リョービMHI
グラフィックテクノロジー株式会社

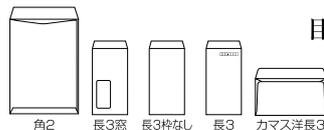
代表取締役社長

一 政 讓

〒114-0003 東京都北区豊島5-2-8
Tel. (03)3927-3300 Fax.(03)3927-5716
<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

不透明度 99% 重要書類や個人情報の送付等に最適です

透けない ケント プレミア封筒



目指したのは、

“美しく白くそして

透けない封筒”です。

名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー ▶デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品 ▶官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社 名古屋支店
URL: www.heart-group.co.jp TEL: 052-563-1221



名古屋而立会

会 長 近 藤 祐 輔
会員一同

瀬戸市菱野町4 (株)新興印刷社内
電話 (0561) 21-0391



ALL TIME SUPPORT SYSTEM
てんれいグループ
内閣総理大臣特選第1767号
NPO法人全国募選文後協議会認定

中日典礼株式会社

〒460-0021 名古屋市中区平和2丁目1番1号
TEL(052)332-2241(代) F A X(052)324-5788
☎0120-052-091 携帯電話 090-4215-7237
ホームページ <http://www.sougi-annai.co.jp/>

代表取締役
菱川
大祐

有限会社 つるぎ出版社

月刊印刷センター・旬刊オール印刷・印刷専門書全般

代表取締役 中 谷 勝 利

〒461-0004 名古屋市中区東区葵1丁目15-31
アオイビル201
TEL(052)508-4633(代)
FAX (052)508-4640
<http://www.tsurugi.eei.jp>
E-mail: info@tsurugi.eei.jp

愛知県印刷工業組合事務局

専務理事 河 原 善 高
事務局員一同

名古屋市中区泉1-20-12 電話 (052)962-5771
メディアージュ愛知1階

巻頭言

社名を知らないのは会社がないのと同じ

副理事長 鳥原 久資

最近会社の社内報や社外報が当社に届くようになりました。「社員紹介」「研修に行ってきました」「マラソン大会に出ました」といった社内の紹介から「新たな機械が入りました」「最近〇〇の技術に挑戦中です」といった会社の商品やサービスの紹介まで多種多様です。それも同業者ではなく「ものづくり」をしている製造業やサービス業といった我々以外の会社が多いのです。

共通しているのは「手作り」ということ。オフィス系のソフトを使って制作をしているので見た目決して質の高いものではありません。しかしプロが作った社内報やニュースペーパーよりも不思議に手に取って目が行くのはこうした素人臭い手作りのものです。そうした感覚になるのはおそらく「温かみ」ではないかなと思います。

情報発信のお手伝いといえば我々印刷会社の独壇場でした。ところが現実には同業他社よりも異業種の会社の方が情報発信を積極的に行う時代になってしまったのではないのでしょうか。「伝わるためにどうしたらいいか」といった本来私たちに相談があるはずの情報発信、ところが気が付けば我々よりも頻繁に発信している会社が多くなってきたのではないかなと感じます。

それに加えて多くの情報がフェイスブックやツイッターといったSNSを使って驚く勢いで発信さ

れ、一方でブログを使って自社や自身を発信する企業も多くなっています。情報発信の手段が多様となった時代に、我々印刷会社はいつまでも従来の「印刷」だけにこだわっている時代ではないとあらためて感じています。

愛知県印刷工業組合が全国に先駆けて「ブランディング委員会」を2年前に立ち上げて動画を作成し全国から多くの支持をいただきました。その委員会がフェイスブックページを作り発信に努めています。今期から委員会やセミナーの様子も発信しますが、より組合員に活動を知っていただくこと、そして業界外に印刷業界の魅力を発信することが使命です。

ところで「ゼタバイト(ZB)」という単位をご存知でしょうか。データ量を示す「10の21乗倍」を示す単位です。この単位を「地球上の砂粒の数」と表現する人もいます。実は一日の情報量はいま1ZBだと言われています。それだけの情報が飛び交う今、自ら発信に努めていかないと自社を知っていただくことはまずないということです。そしてそのことに最も危機感を感じなくてはいけないのが我々の業界です。

当組合は全国でもかなりの注目されるほどの活動をしています。今年もまた多くのメニューを用意し発信に努めます。ぜひご参加いただき自社のブランディングにご活用ください。「社名を知らないのは会社がないのと同じ」ですから。



中部No.1のスピード納品
私たちが
尚友社が
試作品無料にて作成いたします

創業 大正8年の実績と信頼
和洋特殊美術製本
有限会社 尚友社製本所 / アイデア創作工房
〒460-0008 名古屋市中区栄4丁目14番19号 富田ビル
TEL.052-301-9900 FAX.052-301-9940
<http://www.shoyusha.co.jp>

■全印工連 印刷協議会 平成28年度上期会議(三重県会議)
中部地区印刷協議会上期会議(三重県会議)



平成28年度事業計画・基本方針発表

愛知・岐阜・三重・石川・富山5県から56名が出席

平成28年度中部地区印刷協議会(四橋英児中部地区協会長・岐阜県印刷工業組合理事長)の上期会議(三重県会議)が6月10日午後1時より、四日市市の「四日市都ホテル」において開催され、全日本印刷工業組合連合会(全印工連)より、臼田真人会長、細井俊男副会長、木野瀬吉孝相談役、高橋秀明事務局次長の4名と中部5県(愛知・岐阜・三重・石川・富山)の印刷工業組合理事長及び役員56名が出席した。全体会議では、全印工連平成28年度事業計画を発表、分科会は5つの分科会と理事長会が開催され、それぞれ活発な意見交換が行なわれた。(写真は、中部地区協上期会議(三重県会議)のもよう)

愛印工組からの出席者は、細井俊男理事長、鳥原久資、松岡祐司、酒井良輔、岩瀬清の各副理事長、木野瀬吉孝顧問理事、山田慎二、野々村昌彦、久野彰彦、磯貝健、堀裕史、服部晋吾、度会尚志、富田章裕の各理事、河原善高専務理事ら16名。

5つの分科会と理事長会で意見交換

上期会議の冒頭、開催県を代表しての水谷勝也副会長(三重県工組理事長)が挨拶に立ち、歓迎の意を示した後、「三重県は先月、伊勢志摩サミットでてんやわんやになっていたが無事終了した。三重県としては、県の物産やおいしいものを紹介したりしたことで、随分PRになったと思っている。今日一日、精一杯おもてなしをしたいと思う。会議を有意義なも

のにして、三重県を楽しんでいただきたい」と述べた。

続いて、四橋会長が挨拶に立ち、社会情勢について紹介したのち、「今日一日、臼田会長も最後までお見えだからいろいろな議論を行なっていただきたい。まさに談論風発百家争鳴。どんなことでも日頃思っていることをどんどん出して、盛り上がる中部地区協にしてほしい」と述べた。

次いで、臼田真人全印工連会長が次のように挨拶。

「5月24日に全印工連の通常総会があり、新たに全印工連会長に就任した。中部地区協には何度か来ているが本当に和気藹々とし、活性化し、充実した地区協であるので、今日一日、私自身も勉強させていただきたいと思っている。

さて、全印工連の主だった事業であるが、皆さんに改めて話をしたいのは、全印工連もそうであるが、各県工組の機能について話をさせてもらう。印刷組合の機能というのは水上元会長が言っていた3つの機能が基本であると私自身も思っている。1つは連帯である。この連帯の群れ方も変わってきている。確かに出会って、懇親を深める。儲かっているときはそれである程度、隣の会社をお手本にして、進められた。今はそうではない。同じ設備を入れても儲からない。なかなか同じ仕事はできない。自分で独自のお客様との接点を見つけなければいけない。どこにヒントがあるのか、世の中の流れ



四橋中部地区協会長



臼田全印工連会長

がどう動いていくか、全体を把握しなければいけない。把握することでチャンス、ヒントが得られる。これが組合だと思う。島村前会長も、『中小企業、1社1社ではこの先、生き残ってはいけない。だから私たちはしっかりと連帯する必要がある』と言っていた。私はそれに加えてさらに、『正しく群れていきたい』と思っている。2つ目は共済である。共済というと兎角保険とか、加入することによって県工組の収入源になるということが先行しがちである。しかしながら本来の目的は、私どものそれぞれの企業の大切な社員を守るため、また設備もそうであるが、自社の資産をしっかりと守ること。この本来の目的を各県工組の共済委員会を通じて、より丁寧に今まで以上に説明していきたい。3つ目は、我々全印工連のサポーター役ということで、一年半前に与党の衆議院議員、参議院議員合わせて約120名の国会議員に中小印刷産業振興議員連盟を立ち上げてもらった。これによって、私ども中小企業の抱える直近の課題、また私たちがそもそも持っているノウハウについての後押しなど、様々な問題、提案ができる場所ができた」と、全印工連の現況と事業計画の概略を説明した。

総会は、四橋会長を議長に議案審議に入り、「平成27年度収支決算」、「平成28年度予算(案)」などが上程され、原案通り承認された。

次いで、高橋次長が全印工連・平成28年度事業概要の説明を行なった。(平成28年度事業計画の基本方針・実施事業などは別項参照)

小休止の後、分科会・理事長会が開かれ、分科会では、①経営革新・マーケティング分科会、②環境・労務分科会、③組織・共済分科会、④教育・研修分科会、⑤取引公正化分科会の5分科会で意見交換が行なわれた。

全体会議後半では、分科会・理事長会での討議内容の報告が行なわれた。報告者は、経営革新・マーケティング分科会：出村明(石川県・副理事長)、環境・労務分科会：土井弘人(三重県・副理事長)、組織・共済分科会：岩瀬清(愛知県・副理事長)、教育・研修分科会：大洞正和(岐阜県・副理事長)、取引公正分科会：飴徹(富山県・副理事長)、理事長会：吉田克也(石川県・理事長)の各氏。

分科会報告終了後、山田慎二愛印工組理事からCSR報告が行なわれ、質疑応答では白田会長らが詳細に説明した。

閉会の辞を中部地区協鳥原久資副会長(愛知県工組副理事長)が行ない三重県会議が終了した。

【中部地区印刷協議会・平成28・29年度役員】

○会長：四橋英児(岐阜県・理事長)

○副会長：鳥原久資(愛知県・副理事長)、水谷勝也(三重県・理事長)、楠行博(富山県・理事長)、吉田克也(石川県・理事長)

○幹事：出村明(石川県・副理事長)、土井弘人(三重県・副理事長)、岩瀬清(愛知県・副理事長)、大洞正和(岐阜県・副理事長)、飴徹(富山県・副理事長)、能登健太郎(石川県・常務理事)、塚本誠(三重県・理事)、服部晋吾(愛知県・理事)、中島弘稀(岐阜県・常務理事)、八木拓道(富山県・理事)

○事務局長：河原善高(愛知県・専務理事)

○監事：森弘安(岐阜県・専務理事)、堀裕史(愛知県・理事)

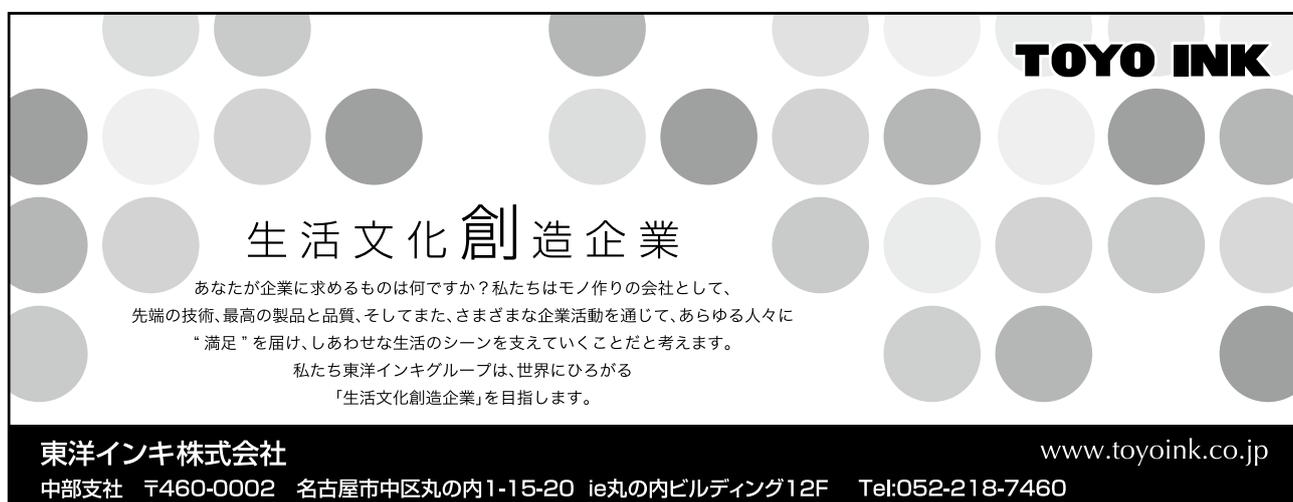
全印工連／平成28年度[事業計画]

志あふれる印刷産業へ 期待される価値を求めて

【基本方針】

世界経済のみならず日本経済においても、その動向から目の離せない状況下にある。そのような中で、内需を市場とした印刷産業においては、事業所数、従業者数、出荷額の減少に未だ歯止めが掛からないが、しかしながら一方で、1社あたりの売上高および従業員1人あたりの出荷額の指標は向上しており、各地域各社の努力により業態変革を実施したことで社会から必要とされる企業、そして、情報コミュニケーション産業としての新たな門扉が開かれたのではないかと推測される。

このような経営環境の中、本年度より全印工連では、「志あふれる印刷産業へ、期待される価値を求めて」をテーマに、各工組との連携、協力体制の一層の強化を図りながら、組合員企業の力強い経営と持続的な成長、発展を期して、諸事業に取り組んでいく。



TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひるがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社 www.toyoink.co.jp
中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-20 ie丸の内ビルディング12F Tel:052-218-7460

私たち印刷産業は、日本全国各地域において事業所数、従業員数、及び出荷額はその地域の中で上位を占め、わが国の基幹産業として位置づけられている。このことは印刷を通じて人々の文化・教養を広げ、暮らしを豊かにする力強い産業の証である。また同時に、全国会員約5,000社により構成される事業者団体は他に類を見ないものであり、わが国の印刷関連団体における事業者数の6割を超える大きな組織力を有している。この事実を内外へ発信し、中小印刷産業振興に対し一層の事業推進力を得たいところである。

印刷産業の事業範囲は既に印刷物製造の範囲を超え、お客様の「伝えたい」や「思い」を最適なカタチに変える情報コミュニケーション産業であるといえる。人々を、社会を、より一層力強く結びつけられる産業こそが私たち印刷産業である。一方で、組合員相互の関係については 心を通わせ共に励まし合える環境を整備し、より更なる組合員連携を図っていく。具体的には、組合員相互の交流機会を増やすことや、遠隔教育システムの導入による教育研修機会を増やすことにも取り組んでいく。その他、シニア・現役・次世代と三世代が集える事業を展開することで世代を超えての印刷人の絆を強固にしていかななくてはならない。

志あふれる印刷産業に向けて組合員各位の英知を結集させ、より良い印刷産業となるよう諸事業を推進していく。

【実施事業】

■産業成長戦略のデザイン

「全印工連2025計画」の普及・啓発とともに、計画に沿った業界振興施策の推進について各委員会と連携する。また新たに、印刷産業としての対外広報・発信力強化ならびに各工組、組合員とのより円滑な情報伝達を目指し、広報戦略を立案し推進する。併せて、印刷産業の事業領域拡大に伴う積算基準と積算体系の研究・確立、印刷業経営動向実態調査の実施、成長戦略に関わる各種政策提言の取りまとめに努める。

■印刷関連産業との連携強化

印刷関連業界と一層の相互理解の促進を図り、印刷関連産業全体の発展、向上を目的とした研究活動ならびに情報交流の活性化に努める。また、各委員会とも連携し、積極的な事業支援に努めていく。

■経営革新マーケティング事業の推進

組合員各社がソリューション・プロバイダーへと事業を深化させる支援を行なうことを目的とする。経営イノベーションの支援をするために、企業価値算定や企業価値向上のための研究、相続だけでなくM&Aまでを視野に入れた事業承継の研究を行ない、その結果を研修・セミナーを通じて情報提供することで支援活動を行なう。

また事業変革・ワンストップサービスを推進するための共創ネットワークの完成に向けて、「共創ネットワーク通信」のコンテンツをさらに充実させるとともに、検索機能など専用Webサイトの機能強化を図り、実質的に活用価値の高いシステムへと進化させる。併せて、引き続きソリューション・プロバイダーへのステップアップを支援するためのセミナーの開催を継続していくとともに、ソリューション・プロバイダーの事例研究としての各種セミナーの開催を通じてより多くの情報発信を行なう。東京都印刷工業組合とも連携して事業運営を行なうと同時に、各地のソリューション事例の情報収集と発信にも取り組む。

■環境労務事業の推進

印刷業は環境負荷が大きい業種であり、環境意識をより高く持つことが大切である。環境労務事業では、印刷会社の環境対応の改善や労務管理を支援するため、法令の周知及び関連情報の収集・提供を進める他、セミナーの企画及び開催、グリーンプリンティング (GP) 認定制度の普及拡大、インターネットを活用したISO14001取得支援事業「環境経営印刷ネットワーク」を推進する。また、昨年度から全国展開を開始した、GP認定取得の前段階となる認定制度「環境推進工場登録」について、登録に向けた支援を積極的に進め、さらに組合員企業のGP認定取得を促進する。労務対策では、ストレスチェックの義務化に続き、本年6月には化学物質のリスクアセスメントが義務付けられるなど、労働安全衛生法の改正への対応、従業員の健康障害防止を図る。

期待される価値を提供し、社会的満足・ステークホルダーの信頼を得る業界を目指し、組合員満足度を高める。

■組織共済事業の推進

生命共済、医療・がん共済及び総合設備共済を中心とした各共済制度の積極的な加入促進を行なう。併せて、隔年で



コニカミノルタに全てお任せください。

Giving Shape to Ideas

自校正



Falbard AQUA®

環境対応プレート

ケミカルレスCTPシステム



BLUE EARTH®

デジタル印刷システム



bizhub PRESS
C1100/C1085



bizhub PRESS
C1070/C1070P/C1060

コニカミノルタ ジャパン株式会社 PPG営業統括部 中部営業部
※2016年4月1日より社名が変わりました(旧社名コニカミノルタビジネソリューションズ株)

〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15
三井住友海上名古屋しらかわビル11F TEL.052-229-4624(代)

行っている組合員台帳調査の実施や組織関連情報の収集・提供を行ない、組合機能の強化に努めていく。その他、全日本印刷産業政治連盟と連携しながら政策的課題への対応を図る。

■教育研修事業の推進

新たな収益改善セミナーの企画・啓発を行ない、印刷営業講座をはじめとする制度教育では、本年度まで現行制度を実施し、これからの印刷営業に求められる能力・スキルの習得に重点を置いた講座の具現化に向けて、事業の改訂・見直しを進めていく。また、平成29年1～2月に実施予定の技能検定「製版職種（DTP作業）」の円滑な運営を図るため、試験実施予定の工組へのフォローアップに努める。なお、今後の教育事業の推進にあたり本年度は、遠隔教育システムの利活用の研究にも取り組む。

■ダイバーシティ事業の推進

中小印刷業界において優秀な人材を確保するために、多様な属性（性、年齢、国籍、その他個人的差異）や多様な価値観、発想、ライフスタイルを取り入れたダイバーシティ・マネジメントは、企業と雇用する個人の成長及び発展を促進する経営戦略の一つとなる。そこで、ダイバーシティ・マネジメントを既に実践し、社員がいきいきと働いている会社の見学会の開催や経営者・管理職に向けたセミナーの開催を通して、組合員企業に幅広い視点での雇用環境の改善を啓発する。

■CSR事業の推進

CSRは、地域密着型の中小印刷業が社会から信頼される魅力ある会社となるために必要な取り組みであり、持続可能な経営を目指して、優秀な人材の確保や企業ブランドの確立、顧客や金融機関による企業評価の向上等につながるものである。本年度は、全印工連CSR認定の標準認定であるワンスター認定及び上位認定のツースター認定の普及拡大、2017年6月から認定を開始するスリースター認定（最上位認定）の制度化及び周知、CSR情報誌「shin」の発行に取り組むとともに、クラウドバックアップサービス事業、日本印刷個人情報保護体制認定制度（JPPS）、メディア・ユニバーサルデザイン（MUD）活動など、企業のCSR活動を支援する事業に取り組んでいく。

■全印工連特別ライセンスプログラム事業の推進

高付加価値化による収益構造の改善、企業コンプライア

●身近な催し物のお知らせ（愛印工組関係）

H28年7月15日(水)以降の事業

開催日時	事業・行事、場所、備考	
7月29日(金) 18:30～20:30 (18:00より受付開始)	事業名	第1回 経営者と社員が一緒に学び&結果を出すセミナー ～そもそも本気で変わろうと思っていますか～
	場所	ウインクあいち901号室
	講師	株式会社シーレップ代表取締役兼CCGのグループCEO 北田浩之氏 同 経営推進事業部長 森 正剛氏
	参加費	各県印刷工業組合員1人3,500円、2人目から2,000円 一般1人6,000円
	定員	171名
	申込期日	平成28年7月22日(金)
	備考	※詳細は同封のご案内をご覧ください。
7月16日(土) 10:00～16:30 (9:30開場)	事業名	MUD教育検定3級
	場所	ウインクあいち 12階1202会議室
	参加費	一般16,200円 各県印刷工業組合員15,700円 学生5,400円 再受験8,100円
	定員	90名
	備考	※締切済
7月15日(金) ～16日(土) 9:30～17:30	事業名	MUD教育検定2級
	場所	メディアージュ愛知 3階会議室
	参加費	一般54,000円 各県印刷工業組合員52,000円
	定員	30名
	備考	※締切済

スの強化、組合員としてのメリットの提供等を目的として、新規契約の獲得ならびに既参加企業へのサービス及びサポートの一層の充実に努めていく。

■資機材問題への対応

用紙価格等動向調査の実施などを通じ、印刷関連資機材の動向を把握し、有益な情報提供に努める。併せて、関係団体との緊密連携を図り、各種対策の協議ならびに啓発活動を行なう。

■協議会／文化典／その他

①地区印刷協議会、②官公需対策協議会、③全国青年印刷人協議会、④2016全日本印刷文化典ふくしま大会の開催、⑤各種刊行物の発行、⑥印刷文化財保存への協力、⑦関係行政機関、関係団体との連絡、⑧共同販売事業の推進。

四六半裁
OLIVER 480SD/SDP

LED-UV搭載

究極まで追求した
最新テクノロジーを随所に採用し、
更なる高品質・高生産性を実現。

オリバー480SD
四六半裁4色印刷機

大好評! オリバーSD/SDPシリーズ 菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種

最高の製品をお届けすることで、
お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本 社
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL. (03) 3643-1131 (代) FAX. (03) 3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL. (0575) 35-2551 (代) FAX. (0575) 35-2881

大阪営業所
〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL. (06) 6308-6651 (代) FAX. (06) 6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL. (092) 741-2672 (代) FAX. (092) 741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL. (0575) 33-1260 (代) FAX. (0575) 33-3146

 
ISO 9001-14001 認証取得
生産技術本部

■愛印工組／女性活躍推進セミナー
「印刷会社の女性活躍を考えよう in 愛知」

女性の活躍で変わる
変える
これからの印刷産業



愛印工組CSR・ダイバーシティ委員会（山田慎二委員長）は、5月9日ウイंकあいちにて「女性の活躍で変わる、変える、これからの印刷産業」と題した女性活躍推進セミナーを開催した。出産・育児の渦中にある女性や一度退職してしまった女性が再び活躍できることは何か。印刷会社における女性活躍を考えるセミナーは、第1部基調講演、第2部事例報告・パネルディスカッションが行なわれた。以下、各内容からその要旨をピックアップし紹介する。

【第1部 基調講演】

「女性の力が企業を変える
～働き方改革で業績アップ～」

菊地 加奈子 特定社会保険労務士菊地加奈子事務所
(株)ワーク・イノベーション代表取締役

□職場における男女差別の撤廃

基調講演の冒頭、菊地講師は「私は5人の子供の母である。今日は、女性、働く母、スタッフを雇う経営者、また、社会労務士の立場からお話しをさせていただく」と自身を紹介し本題に入った。

まずは「女性活躍推進法」の前進となる「男女雇用機会均等法」に触れた。「この法律は、職場における男女差別の撤廃により、もっと女性が活躍できるようにすることが目的であった。しかし、男性に適用してきた雇用管理の一部をそのまま

女性に適用したことが、男女雇用機会均等法30年の失敗といわれる理由」と指摘。さらに、労働基準法41条2項の「管理監督者」の項目に触れ、「この定めでは、労働時間・休憩・休日が適用されない。女性も管理監督者なら日曜出勤しなくてはならない。妊婦でも転勤・出張もあり、妊娠・出産への配慮のない法律である。女性のライフイベントを想定しないこの画一的な施策は、結果として『子供を産む』か『仕事を取る』か、という選択肢だけになってしまった。菊地講師も自身の経験を振り返り「私は子供と家庭を取りその結果、働き続けることができなかった。私と同じような人が世の中には315万人おり潜在的労働力といわれている。このような人たちの使い方を工夫すれば会社はもっと伸びていく」。

□女性の職場における活躍を推進

男女雇用機会均等法の30年分の課題を凝縮し解決すべき誕生したのが「女性活躍推進法」である。この法律について菊地講師は次のように話す。

「女性活躍推進法の枠組みの最終目標は、一般事業主行動計画を策定することにある。中小企業に対しては努力義務であり、そこまでする必要はないといわれているが、ぜひ状況把握・課題分析を行なっていただきたい。まず、社内の問題を明確にし、それを解決する方法を考え具体的な数値目標を立てる。例えば、女性の管理職比率を30%まで増やす。1人もいないからとりあえず1人増やすと決める。このような目標で構わない。これを社内に周知し国に届け出る。そして会社は取り組みをする。差別をなくすだけでなく、具体的なア



NEXT GENERATION GRAPHIC ARTS



変化する市場ニーズを多彩な技術でナビゲートする

DIC グラフィックス株式会社

ディーアイシー <http://www.dic-graphics.co.jp/>

本 社 〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20ディーアイシービル

名古屋支店 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-7-15

電話03-6733-5001 電話052-951-9336



菊地加奈子講師



吉澤和江氏



山田慎二氏



木野瀬吉孝氏

クションを起こそうというのがこの法律である。何から始めたらいいかわからないといった企業は、まず自分の会社はどこに課題があるのかを探っていただきたい。

□女性活躍加速助成金

この女性の活躍推進に取り組む事業主へ給付金として策定されたのが、「女性活躍加速助成金」である。実際にこの助成金を活用した例として、㈱太陽堂封筒（吉澤和江社長）の取り組みが紹介された。

菊地講師は「数値目標も無理のない範囲で定めれば絶対にクリアできるので助成金も貰いやすい。しかし、ただお金を貰うだけではもったいない。分析を行なって会社を変えるきっかけにしていきたい」と付け加える。

□ダイバーシティを実現する女性

㈱太陽堂封筒では、外注作業を社内で機械化し、女性も機械を扱えるようにした。最終的には多能工化へ繋げていく計画で、時間を掛けて取り組みが行なわれている。菊地講師は「機械化には人手不足の問題が隠れている。今はまだ実感が無いかも知れないが、人がいなくなるだけでなく、人口構造の変化、少子高齢化、60年後には1.2人で1人の老人を支える状況になるといわれている。普通にフルタイムで働いている男性にも、子育て中で長時間働けない女性と同じ状況が起こればと考えていただきたい。これからは、今まで少数派であった女性や制約のある人たちが稀有ではなくなる。逆に普通に働ける人たちが稀有な存在になるという時代がくる。だからこそ、一番制約を抱えている人たちに標準を合わせ、働き方を見直していくことが女性活躍推進の目的となっている。女性を働かせるのではなく、女性が働ければ高齢者も、高齢者も働ければ障がい者も働けるという、いわゆるダイバーシティを実現する入り口は女性である」と強調する。

□女性活用にキャリアアップの必要性

「女性活用に当たっては、ただ単に働くだけではなく、レベルアップし、次のステップを目指さなくては意味がない。たくさんパートをもっとキャリアアップさせ戦力化していくことが企業の次なる発展に繋がる。この人たちを主力の戦力にするためには処遇改善やキャリアアップが必要である」とその重要性を説く。

そこで、戦力を確保するために役立つ施策に「キャリアアップ助成金」を取り上げ説明。さらに、「パートの有期契約

の理由に「いつでも切れる、という目的やケースが多い。しかし、信頼できるパート、いわゆるスペシャルな主力のパートに関しては、有期とか無期に関係なく働いてもらっていると思う。パートだからとキャリアパスをして同じ仕事をするのではなく、もっともっと勉強していこうという働きかけが、会社の戦力に繋がることになる」。

そのために会社はどうすれば女性をもっと戦力化していくことができるのか、「女性の就業状況」、「女性の管理職、昇進問題」、「晩婚化と晩産化」、「管理職の婚姻状況」などの問題に関して、菊地講師からアドバイスがあった。

また、キャリアアップのためにお互いが意識と両立支援をしていくことを考えたとき、そこで必要になるのは、「対話の重要性」であると菊地講師は指摘する。「パートだから『この仕事は無理』と決め付けてしまったらそこで終わる。できるようにするためには、仕事を分業化し短時間の人でもできる環境を作り出す。高いパフォーマンスを引き出すためには、面倒でも必ずその人と対話をするのが絶対に重要。無理だと諦めないことである」。

さらに菊地講師は、「私は在宅ワークを推奨する。子どもの病気や高齢者の介護があっても、通勤せずに仕事ができる環境にすることが、未来のかたちになる」。

□育休取得・復帰での助成金

育休取得や育休復帰での助成金及び改正された育児休業給付金についても言及があった。

「育休取得・復帰での助成金を受けることは簡単。その人のためにプランを立て育休後、復帰できる環境を整えるだけである。これで育休を取得したら30万円が受給できる。職場復帰をして半年経てばさらに30万円貰うことができる」と育休復帰支援プランを紹介する。さらに、平成26年10月に行なわれた育児休業給付金の改正について、「育休中も頭が鈍らないように、仕事への復帰に不安を抱かないようにと、子供が寝ている間や空いた時間を使いパートや時短で働いてもいいということになった。社会保険料は免除なので実質9割超の所得補助がでる。女性はもちろん育休を取る男性にとってもいい改正である」と説明し利用を促す。

最後に、「これからの働き方について常に5年後10年後の先を見越し企業や自分達の成長のために考えていただきたい」と結んだ。

【第2部 事例報告およびパネルディスカッション】

■事例報告

「自社の女性活躍推進の取り組みについて」

□多能工化への取り組み ～女性が働きやすい職場～

吉澤 和江 (株)太陽堂封筒代表取締役

吉澤社長は、「2025年には4人に1人が65才以上になる。労働不足が目に見えており、それを考えると女性は眠る資産である。今から女性活躍に取り組んでいかなければならないことを痛切に感じた」。

まず、社員の現状を把握するため、個別的なライフプランのヒアリングを行なった。さまざまな社員の現状を知った当初は、「考え込み落ち込んだ」。この状況に菊地先生は、「現状を知ることは落ち込む。そこから前向きになり、どうすればいいのか考えなさい」と、叱咤激励の言葉を受けて直ぐに取り組んだことが、「ワークライフバランス」であった。

改革を始めると辞めていく人がいて機械が止まってしまった。やむを得ず自ら機械を動かした。その時に、「これからは多能工化にしていかないといつか機械が止まる」と思ったという。この経験から、助成金を使い女性3名を機長にした。

「女性活躍を立ち上げることは、社内における社長の強い意識がないとできない。特に経営者の意識改革が必要で、人手不足で経営ができなくなる前に、女性がたくさん働ける業界になることを願っている。印刷業界の女性が働きやすい職場は、男性も障がい者も高齢者も働きやすいと思う。だからこそ取り組まないといけない問題である」と強調する。

□自由な体制から育むアイデア ～今後も支援ママたち～

山田 慎二 (株)二和印刷紙業常務取締役
(有)アド・フューチャー代表取締役

「アド・フューチャーでは、情報誌『きらきら』を発行している。殆どは子供が小さくて働きにでられないママたちである。営業の業務内容は広告の企画提案だが、ほとんど経験者はいない。ママである自分たち自身が『見たい、読みたい、必要なこと』をクライアントにアポイントを取り企画提案している。

働いている人のパターンは、下の子が小学校に入学するタイミングで、社会復帰をしたいと考えており、まずはその練習のために働かせてほしいという人が多いという。こうした人に対し、「社会復帰をするためにうちで少し働き、行きたいところができたら移ってもらって構わない」と肝要である。

「どの人も社会人経験者。うちに来てからの教育は全く必

要ない。皆さんには自由に仕事をしてもらい、私たちはそのスキルを使わせてもらっている。この方たちが社会復帰したとき、何か縁があれば、一緒に仕事をさせていただければいい。これからも支援していきたい」と山田社長は話す。

■パネルディスカッション

「女性活躍、本音トーク」

コーディネーター:木野瀬吉孝氏 木野瀬印刷代表取締役

パネラー:菊地加奈子、吉澤和江、山田慎二 各氏

□待機児童への対応

木野瀬:横浜は待機児童の問題は進んでいると聞く。菊地先生の所で働く人たちの現状は?

菊地:私が保育園もしているので、社員は子連れ出勤。だから待機児童の問題は一切ない。最近では、企業内保育園が国から認可を受けることができ、赤字運営なしに建てられるようになった。経営者の方は、ぜひ検討していただきたい。

木野瀬:どうやって保育園を作られたのか?

菊地:私の保育園の場所は駅前で、自宅と事務所から近いところにある。最初は保育園の中に事務所があったが、手狭になり隣のビルに借りた。そこで働く保育士さんたちも自分の子供を連れてくる。いわゆる潜在福祉である。保育士が足りないといわれているが、うちの保育園では、自分の子供も連れてくる経験豊富で優秀な方たちが働く。全員が皆の子供を育てながら働く環境だから人間関係もいい。皆が顔見知りでいい関係にある。

木野瀬:これからは、ある程度の規模になったら周りの会社と協力して企業内保育園を作ることが、当たり前になってくると思う。

□企業内保育について

【質問を受けて】

企業内保育の規模について、企業以外の子どもの受け入れなど初歩的なことについて教えてほしい。

菊地:子供・子育て支援新制度に変わり19名以下の子供を預かることができる。事業所の保育所として認可を受け補助金を得られる。要件としては、自社の子供だけではなく、必ず地域にも開放すること。その保育所に自社の社員の子供が1人以上いればいい。後は全部地域開放が可能ということが大きな特長である。市区町村で、必要と認めてもらえれば認可を得られる。まずは所轄の市区町村に問い合わせただくことが一番の近道だと思う。設備投資と賃料は補助が得られる。赤字には絶対にならない仕組みになっている。近隣の企業が集まり一緒に保育施設をやるかたちも広がってきている。

■愛印工組:MUDセミナーより

MUDセミナー

MUDの基礎知識とMUDに配慮した印刷物制作のポイント学ぶ



講師を務めた
鳥原MUD協会理事

愛印工組は、5月27日メディアージュ愛知3階会議室において「MUDセミナー ～CSR活動と顧客満足の実現の一助として～」を開催。MUDに関する基礎知識を学んだ。講師には鳥原久資MUD協会理事(愛印工副理事長)が務めた。

※ ※ ※

鳥原講師は、バリアフリーとユニバーサルデザインの違いに触れ、「バリアフリーとは、障壁(バリア)を取り除くことで、ハンディキャップのある人にも、快適な普通の生活を送ることを可能にしようという考え方」であるのに対し、ユニバーサルデザインは、「バリアフリーから進化した概念から生まれ、1985年アメリカノースカロライナ州立大学教授の故ロナルド・メイス氏が提唱したのに始まり、あらゆる体格、能力、年齢、障害の有無にかかわらず、誰もが利用できる製品・環境・サービスを想像する」との考え方を紹介。

次いで、印刷メディアに対する実態と課題に触れ、印刷メディアに対する不満内容には「文字が小さい、背景と文字が同系色で読みにくい、取説など見にくい印刷物」を挙げ、さらに、「65歳以上の高齢者や弱視者、色覚障がい者、身体障がい者、外国人」など、伝える相手によって異なる状況が示された。

さらに、メディア・ユニバーサルデザイン5原則について取り上げ、次のように説明を加えた。「①伝わる(アクセシビリティ/接近容易性)は見えない・読めない・手に入らないなどの情報の入手を妨げる要因を取り除くことへの工夫。②便利(ユーザビリティ/使いやすさ)はより快適に、より便利に、無理なく使えるような使いやすさの工夫。③わかりやすい(リテラシー/意味の伝わりやすさ)は内容がより理解しやすい物となるような言語、表現、構成による工夫。例えば、ピクトグラムやイラストを使うなど。④かっこよさ(デザイン/情緒に訴えること)は情緒に訴え、行動を誘発するデザイ

ンによる工夫。例えば、内容に合ったデザイン、見たいと思うデザイン、多くの人を楽しめるデザインなど。⑤やさしさ(サステナビリティ/環境対応と持続可能性)は人にやさしい製品は、環境にもやさしくなければ、本質的には人にやさしくない。印刷物や包材の環境対応もMUDには必要」とした。

また、拡大するUD関連市場に触れ、「1995年に4,869億円であったものが、2013年には2兆9200億円まで伸びている。この市場に、各業界からの参入が相次いでおり、特に、経営方針としてユニバーサルデザインを採用する企業が急増している。その狙いには、市場競争の中で優位性を確立するためとCSRの観点からである。さらに、この4月から障がい者差別解消法が施行された。障がいのある人に不当な差別的扱いをしてはならないというものである。印刷業界は、永年培ってきた技術・ノウハウがある。これらを活かすことで拡大する市場に対応できる素地がある。見逃す手はない」と強調する。

そして、MUD5原則を考慮した上で、MUDに配慮した製品を作り出すためには、次の計画を立てて制作することを勧める。「①比較となるもの、目標となるものを用意する、②配慮すべき対象者を明確に決める、③配慮すべき対象者になりきってみる、④複数の伝達方法・手段を考える、⑤地球環境にも配慮する、⑥ユニバーサルデザインをよく理解して客観的にみる」。

セミナーの最後に、「他人との差別化をする意味においても、MUDを勉強し資格を取っていただきたい。3級に合格するとMUDアドバイザーの認定証がもらえる。これだけでもお客様に信頼されるし、社内でも存在が認められる。自身の武器としてぜひ取得してほしい」と、MUD教育検定への挑戦を促した。

『印刷業向け業務パッケージの決定版 P-MAN』

印刷情報管理システム



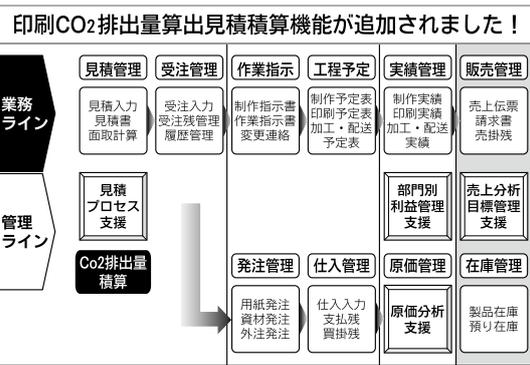
P-MAN Business e-Brain
Print Manager

見積・受注・制作予定・印刷予定・加工/配送予定
在庫・発注仕入・販売・原価システム

営業情報を正確に早く、制作・製造部門に伝えることで
生産性の向上、ミス・ロスの低減を行い利益向上を計ります。

『導入実績100社』

『今こそ!!情報の見える化(MIS)』



株式会社 **モトヤ** 〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-10-25 TEL. 06-6261-1931
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 TEL. 03-3523-8711

●愛印工組

平成28年度事業計画

三役直轄／ブランディング委員会／CSR・ダイバーシティ委員会／経営革新委員会／マーケティング委員会／教育委員会／環境・労務・新人教育委員会／組織・共済委員会



荒川壮一委員長



山田慎二委員長

●三役直轄事業

鳥原久資副理事長

三役直轄事業として、次の各事業のより一層の充実を図る。

【第7回ポスターグランプリ】今年度のテーマは「VS」。今年から富山県印刷工業組合も加わり中部地区協議会全体で協力しながら開催する。ポスターグランプリの認知度も上がり学校関係者や一般のデザイナーにも関心が高まっている。将来のグラフィックデザイン業界を担う人材育成の一環として、社会的意義をより深めることができるよう共に活動していく。

【名古屋而立会への支援・協力】組合青年部の活動は今年も例年通り名古屋而立会に委託をする。また、情報交換を密にし、支援を行っていく。こうした交流を通して将来の印刷業界を担う若手印刷人の育成に努める。

●ブランディング委員会事業

鳥原久資副理事長、荒川壮一ブランディング委員長

設立して1期2年を終えた当委員会は、確立した印刷産業のブランド・アイデンティティ『お客様と文化を共創するビジネス・コンシェルジュ』をさらに浸透させるべく活動をする。また、組合員向けセミナー等の企画も引き続き行ない、インナー・アウター両サイドで印刷産業をPRしていく。

①PRムービーの積極的浸透活動とフェイスブックページの管理運営、②インナー向けセミナーの開催、③社会に向けてのブランディング活動（昨年に引き続き、依頼のある大学や高校に出向き印刷産業の魅力を伝える。また、印刷産業の各種展示会等への参加も検討する）。

●CSR・ダイバーシティ委員会事業

酒井良輔副理事長、山田慎二CSR・ダイバーシティ委員長

少子高齢化により国内労働人口が減少する中で企業を継続するためには、多様な人材（性別、年齢、人種や国籍、障がいの

有無、性的指向、宗教・信条）が活躍できる職場づくりが急務である。特に女性が活躍する場を少しでも業界内に増やすことで、イノベーションを生みだし、価値創造に繋がった新たな企画・サービスが提案できると考える。全印工連CSR認定制度の取得を図り、印刷業界からCSR・ダイバーシティ経営を発信していくことが、業界活性化に結びつくと思われ活動を行っていく。

①CSR認定制度普及啓発、②JPPS（日本印刷個人情報保護体制認定制度）普及啓発、③MUD教育検定（3級、2級）。④女性活躍推進事業（ダイバーシティ推進事業）、⑤クラウドバックアップサービス事業の普及啓発。

●経営革新委員会事業

酒井良輔副理事長、野々村昌彦経営革新委員長

次世代の印刷業界を構築する場として考え、業態変革の手引として、方向性のヒントになるセミナー及び企業見学会を実施。新事業によって成功した会社事例や情報を発信するとともに、それぞれの会社の得意分野にプラスになる情報を紹介する。また、印刷業界だけでなく、異業種の経営事例も情報発信し、これからの事業を考える機会を提供していく。

①経営革新セミナーの開催、②企業見学会の開催、③企業経営に関する各種情報の発信。

●マーケティング委員会事業

松岡祐司副理事長、久野彰彦マーケティング委員長

高額な受講費、また大切な時間を費やして数々のセミナーに参加している人も多い。受講した直後は、頭では理解したつもりになっても、それを会社に取り入れ変革・実践しているかということ、実際には少ない。その原因として、会社の代表である我々経営者が、セミナー受講後「いい事聞いた。うちも明日からやるぞ」とハイテンションモードで会社に持ち帰ったとしても、社員側との温度差が生じ、すんなりと受け入れ

幅広いニーズに対応するキャパシティと工場24時間稼働体制でサポート

印刷ステーション

DAIKYU

株式会社 太急 〒460-0007 名古屋市中区新栄1-14-21
TEL 052-262-0555 FAX 052-262-1043
関連会社/ (株)太急・(株)山川

- OFFSET PRINTING
組版印刷
- UV PRINTING
特殊紙・パッケージ印刷
- POST CARD・ENVELOPE
はがき・封筒カラー印刷
- BUSINESS CARD
名刺・DM・オンラインカード印刷
- SEAL・封札機工
シール印刷・封札印刷機工
- OUT SOURCING
複写印刷・各種加工

盛功社の創業は1889年。2014年に125周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。

●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料

株式会社 盛功社
SINCE 1889

〒461-0014 名古屋市中区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
http://seikosha-net.jp/



野々村昌彦委員長



久野彰彦委員長



磯貝健委員長



堀裕史委員長



服部晋吾委員長

られない壁がある。もう一点は、もし何か新しいものを取り入れたとしても、その前後で何がどのように変わったのか、明確にする機会を設けていない。そこで、今年度は、経営者と社員と一緒に参加し、それも受講して終わりではなく、それを会社に取り入れ、その成果を発表する場までを追いかけるセミナーを提案する。

①経営者と社員と一緒に学び結果をだすセミナー(年2回程度、但し1回のセミナーは前編・後編セットにして時間差で開催)、②全印工連の業界計画への対応。③需要開拓情報誌「PRINT ZOOM」の購読集約。

●教育委員会事業

松岡祐司副理事長、磯貝健教育委員長

印刷従事者のスキルアップを目指し、印刷技能検定オフセット印刷の実技試験とその採点を実施。合格率アップのための学科試験対策学習会の開催。経営者はじめ社員の資質向上及び人材育成を目的に次の事業を行なう。

①印刷メンテナンスによる収益改善セミナーの開催、②印刷技能検定「オフセット印刷作業」実技試験及び採点、学科試験対策学習会の開催、③Adobeテクニカルセミナーの開催、④印刷機械の予防保全セミナーの開催、⑤全印工連特別ライセンスプログラム説明会の開催と販売促進、⑥印刷の後工程から見た提案セミナーの開催、⑦製版技能検定「DTP作業」実技試験及び採点の実施、⑧ゼロから始める「見える化」セミナーの、その後の経過について事例発表の開催、⑨印刷技術、従業員教育に関する情報の発信。

●環境・労務・新人教育委員会事業

木村吉伸副理事長、堀裕史環境・労務・新人教育委員長

環境事業は、グリーンプリンティング(GP)認定工場制度、環境推進工場登録制度等の普及啓発に努める。その他、組合員事業所における環境問題、福利厚生及び労働安全に関する

情報発信に積極的に取り組んでいく。

【環境事業】①グリーンプリンティング(GP)認定工場制度の普及・啓発、②環境推進工場登録制度の普及・啓発。

【労務事業】①「従業員・家族合同レクリエーション大会」の実施、②各事業所における「断裁機使用にあたっての特別教育(学科・実技)」の実施支援(⑦学科講習(2回、委員会主催)、⑧実技講習(5回、委員会・支部主催を含む))、③「労働安全衛生法」改正に関する情報配信・セミナーの企画、④「永年勤続優良従業員表彰」の実施、⑤「鉛・有機溶剤取扱者健康診断」の実施(前期・後期)、⑥各種助成金制度、労働関係法規、福利厚生に関する情報発信。

【新入社員及び若手社員の育成】①キャリア形成促進助成金制度等の活用を見据えた新入社員研修会の企画・開催、②新入社員以外でも受講可能な研修カリキュラムの作成・実施、及び活用可能な助成金の情報発信。

●組織・共済委員会事業

岩瀬清副理事長、服部晋吾組織・共済委員長

組織事業では、組合員加入促進を図りながら、それぞれの組合員企業が自社の強みを発揮し、適正な収益確保が出来るような企業経営に必要な情報・資料を提供する。

【組織事業】①全印工連、その他関係機関や諸団体からの情報の収集と提供、②支部事業の積極的支援と広域化する各支部との連携、③「あいちの印刷」の継続発行、④組合ホームページによる情報提供、⑤各委員会の事業推進の積極的な広報活動の推進、⑥愛知県印刷産業団体連絡会及び関係諸団体との緊密な連携と新年互礼会等の実施、⑦組合員加入の目標設定と実施プログラム策定、将来の組合の在り方検討。

【官公需対策事業】①県の「定時見積制度」変更後の継続検証、②知的財産権(所有権)の調査。

【共済事業】各種共済制度の推進。(写真は総代会報告から)

紙でご愛顧70年

印刷用紙専門商社



メイカミ

名古屋紙商事株式会社

社長 鬼頭正二郎

名古屋市東区主税町4-83 〒416-0018
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418
豊山配送センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL.(0568) 39-0501

240線高画質高精細
カラー印刷を標準稼働中!!

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします



大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代)
FAX 0564-62-8463

2025計画を策定『新しい印刷産業へのリ・デザイン』刊行

事業領域を再定義

全日本印刷工業組合連合会(白田真人会長)は、「全印工連2025計画」を完成し、印刷産業新成長戦略『全印工連2025計画 新しい印刷産業へのリ・デザイン』として刊行した。今後10年間の社会・経済環境の変化を想定し、印刷産業の事業領域の再定義を自ら試みるものである。

「全印工連2025計画」では、日本社会のパラダイムシフトを背景に策定。社会・経済環境の変化として、人口減少による需要の縮小やITとデジタルデバイスの爆発的な普及による情報流の変化等に直面し、印刷産業は生産効率の追求を最優先してきた従来型のビジネスの変革を迫られている。

印刷産業は、新たな競争力を獲得するために社会価値の重心の移り変わりを見極め、ソリューション・プロバイダーとして社会から必要とされ続ける立ち位置を確保する必要がある。

2025計画では、環境コラボレーション／地方創生産業クラスター／女性活躍推進／ダイバーシティ／CSR人づくりの5分野を柱に構成されている。印刷産業としての社会課題に取組む姿勢、進むべき方向性を明示した内容となっている。地域社会、行政、政治に強くアピールし、印刷産業への理解を深め、新たな価値創出に繋げていくことを目的としている。

各分野では、社会から必要とされ貢献できる内容を詳細に説明。目標の実現のために次のような行動計画を設定している。

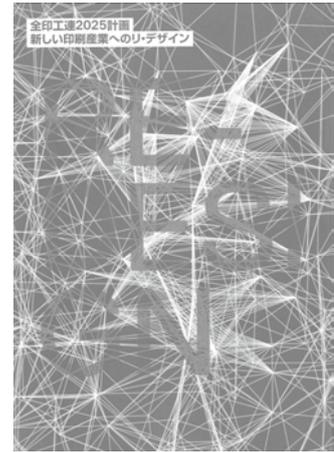
【環境コラボレーション】全印工連が、グ

リーンプリンティング(GP)認定制度普及を機軸として、全産業に先駆けて低炭素社会・循環型省資源社会・VOC排出抑制の実現に寄与する、①環境経営とコストとの関係の正しい認識の啓発、②行政とのコラボレーション、③企業へのGP認定制度周知活動の活発化、④大手印刷会社のGP認定制度取得推進、⑤MISの開発。

【地方創生産業クラスター】①地方創生産業クラスターへの取り組みに関する説明会実施、②越境リーダーの育成、③オープンイノベーションの事例研究。

【女性活躍推進】多様なライフスタイルに対応した柔軟な雇用形態の開発を進め、女性はもとより全ての人が働きやすい環境を提供すると同時に、ジョブシェアや多能工化などの生産性向上を進め、働きやすさと高生産性を両立する産業へと進化。①出産後の復職率を高めるとともに、地方と東京の格差をゼロにする、②労働分配率を2015年比で向上させる、④働きやすさの指標となる統計データを収集する。

【ダイバーシティ】「情報保障」の概念を社会に定着させ、行政はもとより、企業、学校教育、観光産業などの基幹産業・機能における情報伝達分野において「合理的な配慮」が完全実施されている。①「情報保障」ガイドラインの策定、②印刷産業が「情報



保障」の担い手であることの周知徹底・広報活動、③NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会など外部の取組み団体との連携強化、④「情報保障」ガイドラインを活用したセミナーの実施。

【CSR人づくり】印刷産業はCSR先進業界として、日本のCSRをリードし、地域社会や地球環境の持続性を意識した経済循環の牽引役を担うと同時に、これからの日本社会を担う地域人材の育成に貢献する産業へと進化。①CSR認定企業の拡大、②他組織とのコラボレーション、③CSR普及啓発のための推進制度づくり。

『全印工連2025計画 新しい印刷産業へのリ・デザイン』(A4判、192頁)は、全印工連の全組合員に配布され組合員企業の啓発に役立てる。また、業界からの提言とし、各地域における多様なステークホルダーを対象に具体的な活用が課題となる。

編集だより

□各地にある組合(印刷のみならず製版、製本、加工関連)の役員改選があり、その人事を拝見すると、どの組合も若手の登用が随分と目に付きます。組合の活性化を図るのが大きな目的のようで、それだけ若手

への期待のあることが伺えます。中でも、若い力を結集し`対外的に存在価値をPRしよう。と、積極的な活動を見せている組合も多く見受けられます。□地域に密着した印刷関連産業。その存在をさらに知らしめるための活動は貴重であり、陰ながら応援したいと思います。



私たちは毎日たくさんの印刷物を目します。新聞にはたくさんのチラシが折り込まれており、自宅や会社へ送られて来る八芳キや封筒でポストはいつもいっぱいです。その中で目立つためにはやはりすぐ目に付くようなデザインの工夫が必要です。当社では経験豊富なデザイナーやデザイナーがお客様の目的にあった効果的な構成・アイデアをご予算に合わせてご提案致します。

adWISE 株式会社 アドワイス

〒451-0262 名古屋市西区花の木1-18-18 花の木ハイランドビル 5F
TEL 052-523-1257 FAX 052-523-1258
E-mail: ad-wise@adwise.biz

あいらの印刷

No.536
平成28年7月10日発行

発行人 細井俊男
編集 組織・共済委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号
メディアージュ愛知1階
TEL (052) 962-5771
FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>
◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp



napsは、DTPの?に 処方箋をお出しいたします。

DTPのソフトウェアとハードウェア環境は、ますます高機能化、高性能化し、
ネットワーク対応の度合いを進化させています。
その一方で異なるOS間のデータ互換、クロスプラットフォーム化の現在、
ナプスは最適なDTP環境をご提案、ご提供させていただきます。

株式会社 ナプス

〒466-0058 名古屋市昭和区白金三丁目7番6号
TEL.052(882)3481 FAX.052(882)3483

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL : www.heart-group.co.jp



インバウンドを ビジネスチャンスにつなげる。



モリスワは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

インバウンド対応情報発信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス

チラシ、パンフレットなど、あらゆる
コンテンツを多言語化し、スマート
フォンやタブレット端末に向けて、
配信するクラウドサービス。

詳しくは

www.morisawa.co.jp

●記載されている会社名・商品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

Axuas

私たちは、地球に優しい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。

次の世代に豊かな地球を残し、
皆様の幸せに貢献する企業でありたい。



紙・包材・LEDの
株式会社

アクアス

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号
紙営業本部 TEL(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX(052)220-5522
Home Page <http://www.axuas.jp> E-mail info@axuas.jp



キングは 印刷会社の パートナー

詳しくは



Printing Supply
封筒用紙・名刺用紙・
ハガキ・包装用高材

Printing Promotion
カレンダー印刷・名入販促物
(クリアホルダー、ふせん等)

Printing Support
業務支援アプリ・
営業支援アプリ

Printing System
名刺作成システム
(ソフト、プリンター、裁断機)

king 株式会社キングコーポレーション

本社 / 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目7番23号 TEL 052-961-7661 (代)

全国15拠点を
サポート

名古屋本店 / 東京支店 / 大阪支店 / 福岡支店 / 仙台支店 /
さいたま支店 / 横浜支店 / 静岡支店 / 金沢支店 / 神戸支店 /
広島支店 / 鹿児島支店 / 札幌営業所 / 青森営業所 / 浜松営業所

原点、そして未来へ。80, 90, 100年

KOBUNDO
創業70周年

KBD NEW PRODUCTS

オンデマンド UV-LED インクジェットプリンタ
KBD compress HS
デュアルUV-LEDランプで
硬化スピードが従来の3倍に!

A2 印刷面積
300mmまで
高さ対応
1mm可能



デジタルホットスタンププリンター

KBD デジハタAF

オンデマンドで箔を
印刷する



ユーザビリティな動画サイトを簡単操作で
実現するCloudサービス登場!

KBD ムービング セレクション
MOVING SELECTION

- 複数の動画をブラウザで一括表示
- インデックス機能でカテゴリ分け表
- 登録や表示ON-OFFがカンタン!



Web動画を**ラクラク**一覧表示

オンプレスUV装置
KBD LED-UV イージックス
先進のテクノロジーが、
すでにある印刷機をも進化させます。

UVニスでオンデマンド印刷物に付加価値を与える!
KBDデザインニスコーター

6種類のニス柄が付いたローラーで、
印刷物の表面を保護しながら
付加価値の高い
ニスコーティング
を実現。



世界が認めた AVT 社製システム搭載
シール・ラベル検査装置

シール・ラベル用全自動検査装置
KBDチェックマスター-SL
全ての不良を検知する、幅狭のシール・ラベル
全自動検査装置。 用紙に対応!



ヨコ社仕様
タテ社仕様

AVT
Adapted Vision Technology

枚葉オフセット検査装置
オフセット印刷 品質検査装置
KBD Lab-vision
機能・品質・デザイン
ひとつも妥協しない
ハイエンド検査装置



刷版データ比較 刷り出し・抜き取り検査装置

KBD Micro-vision
PDF Matching Sheet Scanner

真に実用的な
「スタートプレス」
検査装置



イルミネーションサイネージ ~光の空間装飾~

KBD Illuminations
イルミネーション
販促や宣伝用の空間
演出の提案をしてみ
ませんか?

画像データでリアルな試着ができる!
KBD バーチャルサブライズ New Try On



着替えないこれからの試着!

360°
ホースに
合わせて
リアルな試着!

製本機ローラー洗浄剤

KBD グローブ ECO

貼るだけで3Dの効果を表現
KBD 3Dラミネートフィルム
メディアに出力した後、
ラミネートするだけでレンズ効果で3Dに!

防水球体型サイネージ

KBD GURU LED

NEWシリーズ40・50・60

2つのデジタルを同時に表現!
インパクトの高いLEDサイネージ!!



印刷機材の総合商社
株式会社 光文堂

本店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山三丁目15番18号 TEL 052(331) 4111 (代)
支店 / 東京 支店 / 東北 静岡 大阪 北九州 福岡 営業所 / 北海道 青森 山形
平塚 函根 沼津 浜松 岐阜 福井 金沢 富山 京都 山口 大分 熊本 沖縄